

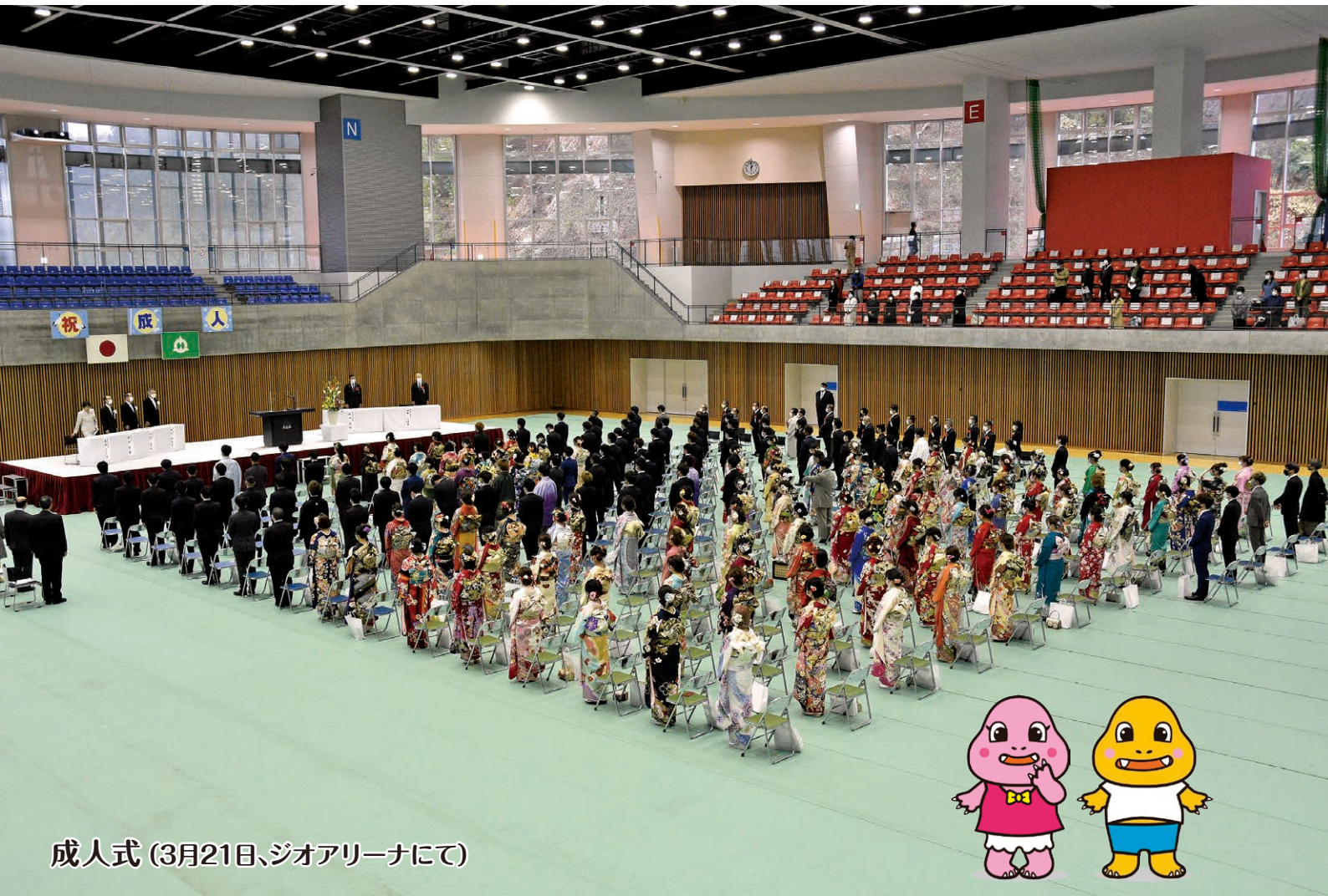


かつやま 1月臨時会・3月定例会報告  
2021.4.22

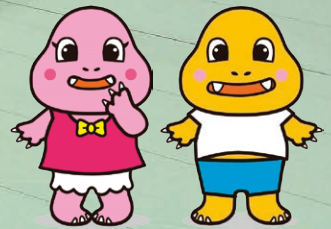
# 議会だより No.79



議会中継動画は  
コチラから



成人式 (3月21日、ジオアリーナにて)



■ 臨時会・定例会審議結果

詳細は 13ページ

■ 常任委員会・特別委員会報告

詳細は 11～12ページ

■ 代表質問・一般質問

詳細は 4～10ページ

■ 予算委員会報告

詳細は 2～3ページ

3月

定例会

(2月24日～3月22日)

1月

臨時会

(1月29日)



## R3当初予算を 審査しました

予算委員会では、令和3年度勝山市一般会計予算及び令和2年度勝山市一般会計補正予算（第8号）について審査を行い、いずれも可決しました。

審査においては、安心安全な新しい勝山への前進を続けていくための予算とした大雪対策や新型コロナウイルス対策、また観光の産業化に向けた支援策などについて、市民福祉の向上に向けた理事者の姿勢を質しました。

他にも、市民の関心が高い「中高併設及び中学校再編」についても議論が交わされました。

審査の内容について、主なものを報告します。

## 教育委員会に「教育監」を配置

**予算：**349万7,000円

**目的：**市立中学校の再編や中学校と高等学校の中高連携の推進を担当する

県が市内3中学校を1校に統合するならば、勝高敷地内に中学校併設を了承したとの報告がありました。敷地内にスペースもあり、近隣のグラウンドや体育館も活用できると判断されたことによるものです。

**賛成意見：**子どもの数も減少している現状、3中学校を1校にするのは仕方がない。また市単独で中学校新築は財政的にも苦しいので、チャンスだ。

**反対意見：**2019年の答申や県への要望書を出していたということだけで、3中学校を1校にすると決めつけている。学校の保護者はもちろん、市民に対してもっと説明や議論が必要ではないか。

**理事者答弁：**まだ決定したと断定していない。将来3中学校を統合して1校にこの方向性を示しただけである。今後、市民の方々に説明する機会を持つ予定である。

### これまでの 経緯

2019年7月、「市の3つの中学校を1つに統合して勝高に併設することが望ましい」と中学校再編検討委員会から答申が出ており、同8月には市より県に対して中学校併設実現の要望書を提出している。

## ワクチン接種開始に向けた質疑と意見

新型コロナワクチン接種事業に関する議論が交わされました。ワクチンについてはまだまだ不明瞭なことが多くある状況ですが、接種に向けた準備が着実に進められていることを確認しました。

**委員：**ワクチン接種の優先順位は。

**理事者：**医療従事者、高齢者入所施設入所者・従事者、高齢者の順で通知する。しかし、ワクチンの配分量によって、さらに年齢で区切る可能性もある。

**委員：**アナフィラキシーショック等への対応を想定し、ワクチン接種の時間帯を午前中にするなど工夫することで、接種後の不具合に対応しやすくするべきだ。

**理事者：**接種の時間帯を市が決めることはできないが、アナフィラキシーショック

は一般的に15分ほどで出ると言われているので、各接種会場で医師や看護師が状態観察をしてショックに対応できる体制をとる。

**委員：**従来のワクチンとの違いは。

**理事者：**ワクチンの製造方法が異なる。

**委員：**接種会場に救急車を配備してはどうか。

**理事者：**集団接種の日程が確定した時点で、消防と連携し即応体制をとってきたい。



## 農業人口の減少に新たなアプローチ

農業振興諸経費 2,115万円

### 新規事業

農業男子・農業女子PR事業、  
「勝山百歳やさい」 応援事業補助金

近年、農業関係者の平均年齢は高くなり、老化や病気などの理由で農作業ができなくなることも多く、農業従事者の数は市内でも減少が続いています。市内農家の新しい応援・支援策として企画されたこの応援事業は、市内農家の人柄や生産物の紹介など、その活動を支援する事業です。古くから栽培されている野菜などを、「勝山百歳やさい」として位置づけ、そのブランド化や県内の流通の拡大を目指すなど、市内の農業人口増加を目的にしています。市の抱える農業問題に対し、新たな角度からの課題解決に向けたアプローチとして、今回の新事業の内容説明がありました。

## まだまだ減らない鳥獣害

鳥獣害対策事業費 1,161万円

猪、猿、熊、鹿、鳥と獣害に暇がない勝山市であるが、猟師の数の確保ができていないか、捕獲した後の処置について、委員から質問が出ました。それに対して「銃所持の猟師は16名、随時試験を受けられる方には補助を行う。猿は中型の檻を2つ追加（現在大2、中2）し、GPSを付け群れの動向を把握しながら捕獲を続けている。猪等の個体は焼却施設には幼体しか入れられないため、成体は企業に依頼し処分を行っている。血抜き等の処置、個体数の安定供給が見込めないことから、ジビエに転用及び新たな焼却炉の建設等は難しい。」と理事者側から回答を得ました。今後も良い案を吸い上げて実行していくとのことだったが、根本的解決にはまだまだ策を講じていかねばならないと認識する結果となりました。

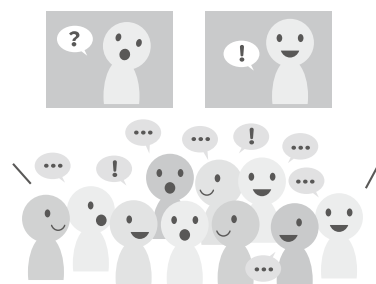
## 議会のなぜ？にお答えします

### 「反対討論」

議案に対して異議がある場合、反対を表明するための意思表示として、本会議において表決の前に「反対討論」ができます。

#### 〈反対討論〉

議案に対して議員が「反対」を表明、その理由を述べて、他の議員に賛同を求めるものです。その後、議長がその議案について表決を採ります。



しかし、例えば、議案第51号「令和3年度勝山市一般会計予算」にはいくつもの予算が計上されているため、その中の1つの事業予算案だけが反対であると反対討論をしても、理由如何にかかわらず、予算全般を「反対」とみなされます。

議案の一部を反対したい場合は、「修正動議」を提出して審議をすることができます。

新風会・公明代表  
吉田清隆 議員



## ○ 水上市長が目指す市政運営について

### その他の質問

- ・ 今冬の大雪について
- ・ 令和3年度当初予算と予算の早期執行について

**問** 水上市長は、市長選挙に出馬表明されてから、「新しい勝山」「安全・安心な勝山」のキャッチフレーズを基に運動され、当選されてから目指したいことは沢山あると思うが、まずは新型コロナウイルス対策が最優先かと思う。

**山岸前市長**が20年間築かれた市政の継続と、20年間の時の流れで時代は動いているので、修正等は余儀なくされると思う。少子高齢化、人口減少対策、観光の産業化、長尾山、産業団地の整備、農林業の衰退の歯止め、中学校再編計画等、課題は多々あると思う。

改めて、議会の席上で水上市長が目指す今後の市政に対する抱負を伺う。

**答** 社会の変化に対応できる安全安心な「新しい勝山市」を市民の皆様と共に創り上げていくという使命感を持って、市政運営に精励していく。

これまで勝山市は、時代の変化に対応したさまざまな政策を推進し、成果を上げてきた。私もこの伝統を引き継いでいきたい。

情報処理技術の急速な発展や新型コロナウイルスの影響、高速交通網の整備など、社会全体の大きな転換期において勝山市の魅力を維持・向上するためには、市民の皆様の安全安心を第一としながらも、長期的な社会の変化を見据えた未来志向のまちづくりを進めていくことが重要であると考えている。

私の市政運営の最重要課題である市民の安全安心のため、現在直面している新型コロナウイルス感染症対策や大雪対策を最優先に取り組んでいく。

## 代表質問Q&A

市議会代表  
帰山寿憲 議員



## ○ 教育監の設置と中学校の再編について ○ 地域社会のデジタル化について

### その他の質問

- ・ 新年度予算について
- ・ 新たな観光ステージについて

**問** 勝山市の中学校再編案である新中学校の勝山高校との併設隣接案に対し、県は前向きな見解を示し施設の中高共同利用について言及したが、勝山市の今後の具体的内容、方向性を伺う。

**また、教育監の役割を伺う。**

**答** 県教委と中高的の併設・連携の効果・必要性などについて協議を重ねてきたが、より具体的な協議を進める次のステージに入る。

ハード面では、新中学校の校舎の建設位置について、両校のスムーズな交流を図るためにベストな場所を検討する。

ソフト面では、中高の教員の兼務体制による授業の持ち方や部活動指導、高校体育館とグラウンドの共用の仕方、学校行事などの合同実施方法等々について、連携効果が十二分に発揮できるようなシステムを構築していきたい。

また、施設整備に当たって、理科室や音楽室、図書室などの特別教室を共同利用することは、中高生の一

体感の醸成と施設整備費縮減の両面からぜひ実現したい。

教育監には、中高連携に関する様々な業務を進めて行く上で、教育長の下で軸となる専任職員として活動していただくよう考えている。

**問** 勝山市の自治体アプリを開発してはどうか。

防災、広報、イベント、観光案内を含め、健康診断やコロナウイルスのワクチン接種の通知にも使用できる。

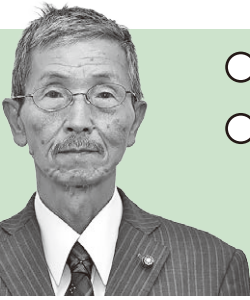
**答** 新たに設置するＩＴアドバイザーと協議していくが、当面、スマートフォンアプリによる情報発信は、定着しているＬＩＮＥを活用したい。

当面は、ワクチン接種に活用し、段階的に防災、広報、各種申請、施設予約など、すでに他自治体で備えている機能を追加していく。

観光向けアプリについても、今後研究していく。

## 代表質問Q&A

久保幸治  
議員  
日本共産党代表



### ○ コロナ禍の経済対策について ○ 新市政の方向性について

#### その他の質問

- ・核兵器禁止条約と核兵器の廃絶について
- ・老朽原発の再稼働について
- ・森林環境譲与税の使途について



**問** コロナ禍に置ける経済被害は、市内ほとんどの業者業種にある。特定の企業や市が契約する指定業者、店舗の救済を優先するのでなく、経済的弱者の市民や市内店舗、市内業者の救済を優先にし、市民に公平に、しかも町の経済に寄与するような政策立案を企画するべきと考えるが、市の見解を伺う。

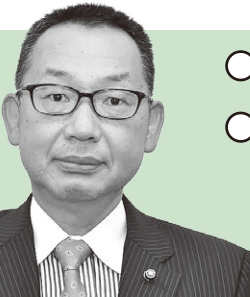
**答** 市民への定額給付金や休業等要請協力金など国や県と連携した支援、事業支援地代給付金など国の支援に上乗せした支援、事業継続応援給付金など市独自の支援といった多様な形で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内事業者への支援策を講じている。来年度も引き続き、状況を鑑みながら次の支援策を検討していく。

**問** 国は「生活保護は国民の権利だ」と改めて認め、生活保護申請をためらわせする扶養照会は「義務ではない」と明言している。扶養照会の制度は、困窮者が生活保護申請をためらう原因になっているという認識の有無と、勝山市では、申請時の扶養照会はどのように行われているか。

**答** 当市では、生活保護申請の相談の際には丁寧に生活歴等を聞き取り、個々の申請者に寄り添った対応を心がけている。DVなどにより要保護者の自立を阻害することになると認められる方や、金銭等をめぐる対立があり交流が断絶している方など、最初から扶養義務の履行が期待できないと判断される扶養義務者には、基本的には扶養照会を行っていない。

## 一般質問Q&A

下牧一郎  
議員  
新風会・公明



### ○ 観光の方向性について ○ 民生委員について

#### その他の質問

- ・ワクチン接種について

**問** 3密をさけ「安全安心」な観光への方向性について理事者の見解を伺う。

次に、恐竜博物館及びその近郊、平泉寺、越前大仏の3か所の駐車場にはWi-Fiの環境整備を急ぎ、構造改革の波に乗った観光地として変えていく必要があると思うが理事者の見解を伺う。

最後に、門前町が宙ぶらりんの状態になっていることが観光にとって大きな問題だと思うが、理事者の見解を伺う。

**答** 平日に時間的余裕がある関東圏のシニア層をターゲットに、白山平泉寺や越前大仏、勝山城博物館などへの誘導を目的に、観光タクシー等の二次交通による移動手段も含めたパッケージ商品の開発など、平準化に向けた研究をしていく。

市内最大の観光地である恐竜博物館周辺におけるWi-Fiの整備については、恐竜博物館の機能強化に向けた県とのワーキンググループの中で県と連携・協

力のもと整備ができないか研究していく。

門前町の方向性については、過去の経過も踏まえ、活用方策を関係者と研究していく。

**問** 「新しい生活様式」が求められている中で、新たな試みとしてタブレットPCを希望する民生委員の方に使ってもらい（無償で提供）、市役所の担当者や民生委員の方とオンラインでいつでも会話できるようにしてはどうか。

**答** 機器の活用ができる方とできない方がいる。まずは、電子メールでの連絡網を作ることができないか、各地区民生委員児童委員協議会に投げかけている。

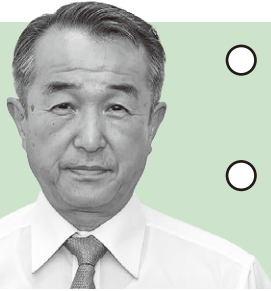
また、スマートフォンやタブレットなど、機器の操作研修なども検討している。





## 一般質問Q&A

新風会・公明  
安岡孝一  
議員



### ○ コロナ禍での暮らしを守る支援制度の活用について ○ いじめのない良き伝統をつくり次の世代へ

**問** 生活困窮者や中小事業者は、コロナ禍の長期化により厳しい状況にある。今年度、国の補正予算や県・市の予算に支援制度があるが、周知と活用の推進について伺う。

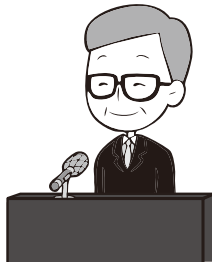
**答** 中小事業者の支援施策については、内容や対象者が改正されることもあるので、随時、広報やホームページ等の媒体で周知するとともに、多くの市内事業者が加入している勝山商工会議所と連携し、周知および活用を努めていく。

困窮相談については、今後も相談者の話に耳を傾け、丁寧な相談対応をしていくことで、相談者の不安払拭に努めていく。

ではなく、いじめめる側が100%悪い、我が学校ではいじめは絶対に許さない」と決意を込めて宣言してはどうか。

**答** 子どもの身近にいる大人が「いじめは絶対に許されない」という強い姿勢を示すことは、いじめの未然防止や早期発見、早期解決に繋がるため、大切なことであると考

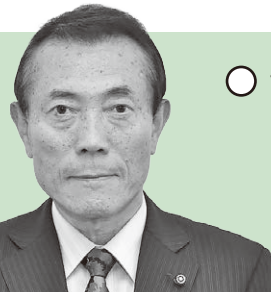
改めて、いじめ撲滅の決意を新たにするため、新学期が始まる適切なタイミングで、議員ご提案の「宣言」を勝山市のすべての学校が実践するよう指導したい。



**問** 全国の学校では、いじめの認知件数は6年連続で増加しているが、幸い勝山市においてはいじめの発生は少ない。この環境をさらに良き伝統とするため、小中学校入学式の校長先生の挨拶の中で「いじめは、いじめられる側に問題があるの

## 一般質問Q&A

市議会  
丸山忠男  
議員



### ○ 令和3年1月大雪について

#### その他の質問

- ・新年度予算について
- ・新型コロナウイルスを克服するビジョンについて
- ・市内中学校再編問題について

**問** 1月8日から10日までの3日間に新雪が19.5cm降り、積雪深が22.5cmという想定外の雪のため、市内交通機関の休業、成人式の延期や市内小中学校の4日間の休業、公共施設の長期閉館等、日常的にも被害が出た。人的被害では死亡が1人、重傷が1人、軽傷が5人、物的被害では住家の一部損壊が1件、床上浸水が2件、床下浸水が9件、非住家3件、農業用パイプハウスの損壊が59件となっている。

雪害対策室や本部の設置とともに除雪体制や流雪溝の管理も一体的に運営する施策が求められるが、市の見解を伺う。

**答** 次の冬に向けた備えとして時間帯による排雪制限について検討していきたい。水路の水量を監視すること、効率的に流雪溝を活用し、日常生活への支障を極力抑える方法を取りたい。それには市民の理解と協力が必要であり、降雪期前に関係区の方々と充分協議していきたい。

**問** 雪害のない勝山市を目指すためには、効果的な雪対策を調査研究する必要がある。東北や上信越など、先進地への視察も必要と考える。雪に強い勝山市の確立こそ水上市長のマニフェストであると確信しているが、市の見解を伺う。

**答** 今回の大雪では、道路、生活路線、歩道の除雪、スタック車両、水路詰まり、高齢者宅等の屋根雪下ろしや進入路確保、不在家屋の対応など、いくつもの課題を改めて研究する必要がある。

今回のように短い期間に大量の降雪となった場合に起きた事例を分析し、重要路線の排雪除雪が順次円滑に進むように除雪体制を構築することや、雪害に対応する先進地を視察して雪に強いまちづくりの制度や市、地域、団体の体制などの情報を得て、雪に強い勝山市に向けての取り組みを進めていく。

## 一般質問Q&A

新風会・公明  
竹内和順議員



### ○ 選べる自治体広域連携について ○ 勝山高校の魅力度アップについて

#### その他の質問

- ・市役所の職員力・組織力について
- ・地域おこし協力隊のマネジメントについて

- 問** 昨年度締結した「ふく嶺北連携中枢都市圏」は、福井市中心の連携事業となつていますが、福井市以外の市町との連携は可能か。複数の自治体が連携し、行政区域にとらわれない広域な範囲での連携を図り、しかも、サービスごとに連携するパートナーを戦略的に選択する「選べる広域連携」を、逆に言えば勝山市が「選ばれる広域連携」が大事と考えるが、市の見解を伺う。
- 答** ワーキング部会において事業決定を受ければ連携も可能。地方都市では人口減少、少子高齢化の進展に伴い人材や産業などの地域資源の縮小が予想される中、政策推進や住民サービス向上のために、自治体間の連携はますます重要になると考える。
- 今後、選ばれる勝山市の実現に向けた各政策を推進する中で、市民福祉の向上において連携自治体相互がWin・Winとなる連携を推進していく。
- 問** 勝山高校の入学志願者数はここところずっと定員割れが続いている。今後の勝山高校の存続が危ぶまれる状況である。そんな中、このほどの県議会での県教育長の「勝山高校に中学併設了承」の答弁があり、市要望が容認された。
- この機に、斬新なアイデアで新しい勝山高校を創る思いで、勝山高校を地域と共に盛り上げていきたい。市の見解を伺う。
- 答** 今後の勝山高校にとって最大の改革となり、県と勝山市の最大の共同作業となるのは、中高併設・連携の実現であると認識している。
- これから更に具体的な協議に入っていくが、連携効果を最大限発揮して大きな成果を出せるよう、そして夢のある新しい中学校の誕生と、正に新しい勝山高校の創造へ向けて尽力していく。

## 一般質問Q&A

市政会  
下道恵子議員



### ○ キャッシュレス化の子どもへの影響について ○ 取立山登山口の冬の駐車スペースについて

#### その他の質問

- ・コロナワクチンの副反応への対処について
- ・小学校の高学年教科担任制導入への対応について
- ・「男女共同参画」の今後について

- 問** 市ではキャッシュレス化を推奨していて、スマホなどで支払いができるお店が増えている。ただ、子どもには現金を持つ機会が減ること、お釣りをすぐ計算できないなどの影響があるようだ。
- 教育の中でのお金に対する勉強の内容と、現代の子どもの金銭感覚について、市はどのように考えているのか。
- 答** 小学校高学年における金銭教育では、電子マネーについて触れたり、買い物の仕組みや消費者の役割、物や金銭の大切さと計画的な使い方について学んだりしている。家庭との連携をはかり、学校教育の様々な場面をとらえて、IT化の進む社会的変化の中でもバランスの良い金銭感覚を身につけた子どもの育成に努めていく。
- 問** 冬の取立山は登りやすく眺めがよいと登山者の中では有名だが、駐車スペースが少ないために、路肩に止める車が多々あり、危険な状態である。
- 事故が起きる前に、現在の駐車場をもう少し広げるか、他に駐車スペースを確保できないか。
- 答** 東山いこいの森入口付近の国道横にある駐車場は、遊歩道利用者のために整備されたもので台数が限定的であり、天気の良い週末は国道の路肩に駐車する状況になることは把握している。付近にあった民宿跡地の駐車場を借りることも考えられるが、費用対効果の面から難しいと考えている。
- 今後、安全な駐車スペースの確保に向けて、国道を管理している奥越土木事務所などと相談していく。





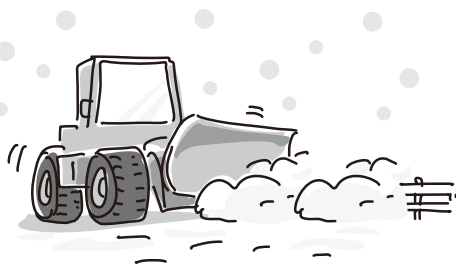
近藤栄紀  
議員  
市議会

## ○ 雪害対策について

**問** 1月の大雪で、作業を担う建設業界は、人手不足と高齢化が深刻化している。オペレーターの育成同様に、業者そのものの育成が必要ではないか。

**答** オペレーター数は、2018年の191名に対し、2021年は189名で大きな減少はないが、早朝除雪の作業時間が長くなり、交代要員がいない中で、除雪業者や作業を担うオペレーターの方々には大きな負担となった。今後は、暖冬時でも業者が影響を受けないよう、また、予想される人材不足や高齢化も踏まえ、オペレーターの人材育成支援や人件費を保証する制度について継続して研究し、国や県に対して強く要望していく。

**問** 今回の大雪で、融雪装置が有効に作動しなかった地区、除雪車が入れなかった地区は、区長が中心に自主的に、市道や狭い道路の除雪をしている。今後、このような場合、



市に代わって市道等の除排雪に協力した地区を対象に補助金を検討する考えはないか。

**答** 各地区や各自主防災組織への補助金については、各地区が冬期間の道路の安全な通行確保のために行う除雪活動に対して支援する「勝山市除雪活動費助成金」制度があり、今年度は、29区に助成した。しかし、今冬のように雪害対策本部等が設置されるような大雪時には、地区の負担が大きくなることから、助成の拡充を検討していく。

## 一般質問Q&A

高間清一  
議員  
市民の会

## ○ 大雪時における除雪体制について

### その他の質問

- ・屋根雪下ろしについて
- ・市内小中学校の再編について

**問** 本年1月8日からの大雪は、平成30年2月の大雪に迫る激しい降り方となり、生活必需品の不足（食料等）の品切れが相次いだ。また、除雪用重機に使用する燃料（軽油）の確保がでなくなつた。今回、この軽油について質問したい。

道路状況が悪くて福井臨港の備蓄基地から勝山までの輸送ができなかったということ。私は、市内の石油業者にお願いをし、福井市にある輸送基地まで小型ローリーで往復してもらい、何とか軽油を確保したが、莫大な時間を要した。そこで、市内の石油業者に協力してもらい、石油タンクの切り替えにより、軽油の備蓄量を増やす案。これで約60キロリッターの量を増やすことができる。市内の石油業者に打診したところ、前向きな返事をいただいている。

市としても石油業者をお願いし、備蓄量を増やす案。このことについて市の考えはどうか。



**答** 勝山市は嶺北石油組合災害時応援協定を結んでおり、災害時等には嶺北石油組合員の協力を求めることができる。しかし、今回のように市外からの輸送が滞るようなケースでは、市内全体の軽油量が不足することになる。

議員ご提案の給油所の既存灯油タンクと軽油タンクの入れ替えについては、その分備蓄を減らした灯油への影響も考慮しなければならず、今後、嶺北石油組合の意見も聞いていきたい。



新風会・公明  
松本聖司郎議員



## ○産婦人科の充実について

### その他の質問

- ・勝山市の観光案内事業について
- ・小舟渡の橋について



**問** 産婦人科の充実については、以前、他の議員からも質問、要望等されていると思うが、今回の大雪で福井市まで検診に行くことが非常に危険であったとのお話があった。あわせて、「勝山に住んでいるのだから勝山で産みたい。」と強く思っている現在妊娠中の方もいらつしやることも把握している。新しい世代に勝山を誇りを持つてもらおうという観点からみても、「生まれから勝山市」はとも重要な要因になりうる。これは、市長の掲げる「安心安全な街」だからこそ実現できるものとも思う。その起点となる産婦人科の充実について、市の見解と今後の方針について伺う。

**答** 市では、市内の妊婦の利便性向上および福井勝山総合病院の産婦人科の利用を促進するため、平成24年度から「※にこにこ妊婦奨励金」を交付し、現在、市内在住の45%以上の妊婦が奨励金を利用している。

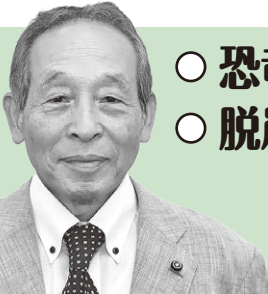
全国的に医療人材の確保は難しく、福井勝山総合病院が短期間で出産できる体制へ復帰することは困難だが、平成30年4月から常勤の産婦人科医が1人配置されたことで、妊娠中だけではなく、産婦健診や母乳相談、令和2年8月からは産後のショートステイ事業を実施するなど、産後のケアの充実を図っている。

今後、安心して妊娠、出産、子育てができる環境を目指していく。

※にこにこ妊婦奨励金・福井勝山総合病院で妊婦健診を受け、県内の医療機関で出産すると10万円の奨励金が交付されます

## 一般質問Q&A

新風会・公明  
乾章俊議員



## ○恐竜を題材にした文化・芸術・ものづくり活動について ○脱炭素社会への取り組みについて-再生可能エネルギー-

### その他の質問

- ・勝山市観光まちづくり株式会社の活動強化について

**問** 観光客が恐竜博物館見学後、市内に長時間滞在し経済効果向上や雇用創出に繋げたい。恐竜は大きな発信力、影響力を持つ。恐竜を題材にした市民参加型の文化・芸術・ものづくり活動を地道に取り組み、国内・海外にも発信し、市民の交流活動を通して魅力ある滞在型の観光資源に磨きあげたい。恐竜を学術的な遠い視点だけでなく、もっと身近なものとして捉え、商品開発やアートの世界に活かしたいが、いかがか。

**答** 恐竜を題材としたものづくりとしては、恐竜ブランドの Apparel や菓子店による恐竜をモチーフとした菓子製造、ボルトやナットを使った恐竜の造形物、ダンボールで制作された恐竜模型の店内展示など、活用や情報発信は市民レベルから企業にまで広がっている。

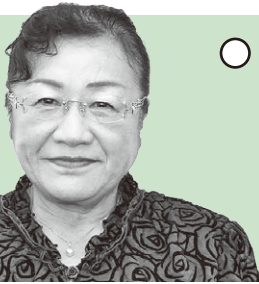
こういった取り組みを通して市民が恐竜を身近に感じ、文化・芸術作品の域へ高めていくような取り組みに繋げていきたい。

**問** 当市のエネルギー活用は1つとして風力がある。プロペラ型ではない小型風力発電機が開発されている。鉄柱の高さ9m、幅21cm、風車は超軽量、出力は500ワットで風速2m（そよ風）で発電。音は静かで、市街地や建物屋上に設置可能。蓄電式でバッテリーの移動ができ、災害時の電力通信手段になる。検討をお勧めする。

**答** 風力発電については、気象庁のアメダスデータによると、勝山市の年間平均風速は概ね2m以上で、マイクログリーンを使用した発電の可能性も期待できるのではないかと考える。

市としては、再生可能エネルギーの活用のうち、発電については民間事業者の事業化を基本と考えているが、情報提供など様々な協力ができる。再生可能エネルギーに関する新しい技術開発の動向などについて、情報収集に努めていく。

市民の会  
富士根信子議員



## ○ 生きづらさを感じる児童等への支援について

その他の質問

・市長の市政運営方針について

問 勝山市の支援体制はとも充実している中、気がかりな子どもたちの発達障害の早期発見や支援開始の対応に必要な専門医のいる診療機関が勝山市には1つもない。

① 福井勝山総合病院に診療科の設置を働きかけてもらえないか。また、5歳児の相談対応をしている保健師が10名程度であり、相談体制が充実しているとは言えないのではないかな。

② その相談に対応する人員や相談支援の場が少ないと感じるが、支援についての現状と今後のより良い相談、支援体制の考え方について聞きたい。

答 ① 福井勝山総合病院における専門医による診療科の増設については、医療人材の確保は課題が大きく難しい現状だが、アフターコロナにおける課題の一つとして、機会をとらえ提案していきたい。

市では、1歳6か月児、3歳児、5歳児健診で発達等の気がかりな幼児については、小児発達専門医や臨

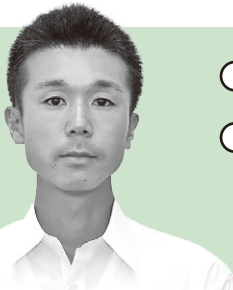
床心理士、言語聴覚士に相談ができる「のびのび相談会」を実施している。継続した支援が必要と思われる幼児には、臨床心理士による「ことばの育ちの教室」の利用を勧めている。

また、平成29年からは、専門医療機関の受診を待たずに市内小児科医の意見書で、ことばや発達に関することで療育が必要な方を対象とした「大野市児童デイサービスセンターくれよん教室」を利用できるようになり、適切な時期に療育ができる体制が整っている。

② 学校生活や友人になじめない児童・生徒に、家庭・学校等以外の社会性を育む場を提供し、健やかな発達を支援するため、令和3年度当初予算に児童の相談・居場所強化事業として140万4000円の委託料を計上した。こうした事業は短期間で成果が現れるものではないが、10年後、15年後に関わった児童等が自立した生活を送れるよう、事業効果を高めていきたい。

# 一般質問Q&A

市民の会  
中山光平議員



## ○ 新たなIT化推進策の発現とその支援策 ○ ※SDGsの捉え方と進め方

※SDGs：持続可能な開発目標

※ESD：持続可能な開発のための教育

問 市民と行政との双方向性のあるアプリ開発を、市在住の小学生がメインプログラマーとなりプロトタイプ（試作品）を作成した。このような民間活力の発掘、支援、連携を通じて、市民の利益としていきたいと考えるが、いかがか。

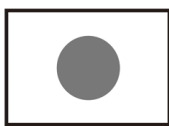
答 市民と協力しながらアプリケーションの開発が進められていることは、子どもたちにIT化を身近に感じさせ、イメージを膨らますことに大きな刺激となる。開発者とも連携を図り、教育の場に取り込むことも研究していく。

問 SDGsが掲げる広範囲な目標を進めることは、市にとって多大な負担になりかねない。限られた予算、時間、人員の中で、市の利益となる事業に集中して持続的に取り組む必要があるのではないかな。

答 SDGsは、世界全体の社会変革に向けた目標で、中には地方自治体にとってなじみにくいもの

あるため、各自治体の独自性や課題などを踏まえた目標に整合性をもって置き換える必要がある。

現在、勝山市が進めているまちづくりの方向性は、SDGsが掲げる基本理念やゴール、ターゲットと方向性が一致している。また、小中学校を中心に取り組んでいる※ESDは、その視点がSDGsと同じく持続可能な社会の構築であり、ESDの推進によってSDGsを担う次世代が着実に育ってきていると実感している。





## ● 総務文教厚生委員会

審査の結果、議案18件について全て可決しました。

### ◆ 勝山市消防職員特殊勤務手当支給条例の一部改正について

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、職員が当該感染症患者に対して作業を行った場合における当該職員の職務の困難度や危険性を考慮し、特例措置として特殊勤務手当を支給することとしたいため、条例を改正する趣旨の説明がありました。

委員からは、市単独の財源か国・県からの助成はあるのか、現在、市に防護服のストックはどのくらいあるのか等の質問があり、交付金対象であること、防護服318着のストックがあるとの回答でした。

なお、一般行政職員に対する同様の条例も改正するとの説明がありました。



### ◆ 勝山市介護保険条例の一部改正について

令和3年度から令和5年度の3年間の第8次介護保険事業計画策定に伴って、介護保険料率を見直すため、本案が提出されました。第8次計画期間の介護保険料については、介護サービスの利用料の見込みや、介護報酬改定、利用者負担の上限額の見直し、保険者機能強化推進交付金等の新たな財源等を総合的に試算し、第7次計画期間（平成30年度から平成32年度）より100円減の、基準月額「5,800円」と説明がありました。

委員からは、介護人材の確保や介護報酬の実態等の質問があり、介護人材奨励金として10万円×3年間の補助金制度があること、報酬は施設等によってさまざまであり、市当局として、個々の具体的な給与等まで求めることはできない旨の回答がありました。

## ● 建設産業委員会

審査の結果、議案10件について全て可決し、陳情1件を採択しました。

### ◆ 令和3年度勝山市市有林造成事業特別会計予算

ドングリの木（県がこれまで市有林で実施してきた造林事業において、皆伐した15haに25,880本を植林し、市に返還したもの）をしっかりと育てていくための下草刈りの業務委託費を計上しているとの説明がありました。



### ◆ 勝山市岩屋オートキャンプ場の設置及び管理に関する条例の廃止について

平成15年度にオープンした岩屋オートキャンプ場の施設の老朽化や管理運営者の高齢化等により、令和2年度をもって営業を終了することに伴い、当該条例を廃止したいとの説明がありました。

今後は、市のホームページや看板を設置してキャンプ場の廃止を周知していく一方、施設周辺には地元の神社や観光資源としての価値の高い大杉もあることから、トイレ等の管理は引き続き実施していくとのことです。

## ● 議会改革特別委員会

議員定数については、新型コロナウイルス感染対策のために見合わせてきた各種団体との意見交換会を早急に開催するため、方針やメンバー構成などを決めました。詳細事項の決定などは、このメンバーを中心に取り組んでいきます。

また、今定例会から導入したタブレットのより有効的な活用方法について協議する中で、前回策定した運用規程などを修正し、適切な活用について再度確認しました。

その他、議会改革の広報や議会広報の内容などについても議論しました。



## ● 総合計画特別委員会

12月定例会以降、3回、委員会を開催し、第6次勝山市総合計画策定に向けた議論を交わしました。

委員会では、理事者から第6次勝山市総合計画策定のスケジュールや市民アンケートなど、市民からの意見集約の方法等の説明を受けました。委員からは、「市民から広く意見を求める形作りが重要」「特に若年層からの意見集約に力を入れるように」といった意見がありました。

今後は、市民アンケートの集計結果の分析を進め、市民の幅広い意見を集約して計画の中にしっかり反映させていくとのことです。

## 小浜市議会から あたたかいお気持ち

令和3年2月4日に小浜市議会より、今冬の大雪に対する見舞金5万円をいただきました。

このお見舞い金は、市道の除雪費等に活用しました。



※写真は、小浜市議会の今井伸治議長（左）から見舞金を受け取る松山議長

## えちてつ早期運行再開への 支援を要望

令和3年3月29日、えちぜん鉄道小舟渡駅付近の土砂崩れに伴い運休している勝山駅と山王駅間の早期運行再開に向けて、永平寺町議会とともに県および県議会に対して支援をお願いしました。



※写真は、県議会の畑孝幸議長（中央）に要望書を手渡す永平寺町議会の奥野正司議長（右）と松山議長



## 臨時会審議結果一覧

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果
議案第49号	令和2年度 勝山市一般会計補正予算（第7号）	予 算	可 決
議案第50号	勝山市副市長の選任について	—	同 意

## 定例会審議結果一覧

★ 議員提出議案

■ 表決を行ったもの

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果
議案第51号	令和3年度 勝山市一般会計予算	予 算	可 決
議案第52号	令和3年度 勝山市国民健康保険特別会計予算	総務文教厚生	可 決
議案第53号	令和3年度 勝山市後期高齢者医療特別会計予算	総務文教厚生	可 決
議案第54号	令和3年度 勝山市介護保険特別会計予算	総務文教厚生	可 決
議案第55号	令和3年度 勝山市育英資金特別会計予算	総務文教厚生	可 決
議案第56号	令和3年度 勝山市下水道事業特別会計予算	建 設 産 業	可 決
議案第57号	令和3年度 勝山市農業集落排水事業特別会計予算	建 設 産 業	可 決
議案第58号	令和3年度 勝山市水道事業会計予算	建 設 産 業	可 決
議案第59号	令和3年度 勝山市市有林造成事業特別会計予算	建 設 産 業	可 決
議案第60号	令和2年度 勝山市一般会計補正予算（第8号）	予 算	可 決
議案第61号	令和2年度 勝山市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	総務文教厚生	可 決
議案第62号	令和2年度 勝山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	総務文教厚生	可 決
議案第63号	令和2年度 勝山市介護保険特別会計補正予算（第3号）	総務文教厚生	可 決
議案第64号	令和2年度 勝山市育英資金特別会計補正予算（第3号）	総務文教厚生	可 決
議案第65号	令和2年度 勝山市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	建 設 産 業	可 決
議案第66号	令和2年度 勝山市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	建 設 産 業	可 決
議案第67号	令和2年度 勝山市水道事業会計補正予算（第2号）	建 設 産 業	可 決
議案第68号	令和2年度 勝山市市有林造成事業特別会計補正予算（第2号）	建 設 産 業	可 決
議案第69号	勝山市行政組織条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第70号	勝山市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第71号	勝山市国民健康保険条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第72号	勝山・永平寺衛生管理組合規約の変更について	総務文教厚生	可 決
議案第73号	勝山市介護保険条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第74号	勝山市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第75号	勝山市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第76号	勝山市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第77号	勝山市火災予防条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第78号	勝山市消防職員特殊勤務手当支給条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第79号	勝山市道路占用料徴収条例の一部改正について	建 設 産 業	可 決
議案第80号	勝山市岩屋オートキャンプ場の設置及び管理に関する条例の廃止について	建 設 産 業	可 決
議案第81号	勝山市教育委員会委員の任命について	—	同 意
諮 問 第 2 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	異議がない
議案第82号★	勝山市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について	—	可 決
議案第83号★	勝山市議会会議規則の一部改正について	—	可 決

### ◆ 請願・陳情

受理番号	要 旨	付託委員会	議決結果
陳 情 第 5 号	市道認定についての陳情書	建 設 産 業	採 択

### ◆ 表決結果

※意見が分かれた案件については、電子表決システムを使って記名投票を行っています。

議 案 名	総 投 票 数	投票数		松 本 聖 司 郎	中 山 光 平	安 岡 孝 一	富 士 根 信 子	高 岡 清 一	久 保 幸 治	竹 内 和 順	吉 田 清 隆	下 牧 一 郎	近 藤 栄 紀	下 道 恵 子	丸 山 忠 男	松 山 信 裕	梶 山 寿 憲	乾 章 俊	山 田 安 信
		賛 成 票	反 対 票																
議案第51号の可決について	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×
議案第56号の可決について	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×
議案第57号の可決について	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×
議案第58号の可決について	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×

○＝賛成、×＝反対、不＝不在、議長＝議長職（通常は採決に加わらない）

# かつやまピックアップ

No.7



## ザ イーチ ベース 「THE EACH BASE」

2019年から勝山を拠点に活動しているものづくりチーム。

今では様々な業種（縫製、鉄鋼、木工、革細工など）からものづくりに興味のある人が集まり、各分野の知識や技術に刺激を与え合うことで本業に活かすなど、ものづくりにチャレンジしています。

また、体験イベント等を通じて“ものづくり”の楽しさを多くの方に伝え、利益の追求だけではなく、技術と知識を地元で“遊び、楽しみ”ながら身につけることをモットーにしています。

メンバーはそれぞれの時間を工夫し工房に集まり活動する、まさに“EACH BASE 一それぞれの基地”を作り上げています。

楽しさから始まる活動に興味のある方はコンタクトしてみてもいいのではないでしょうか。  
(中山 光平 記)

連絡先 EACH BASE事務局  
(メール [each.base.kt@gmail.com](mailto:each.base.kt@gmail.com))



プリント体験の様子



ソロキャンプ用の鉄板

## 議会日誌

1月29日(金) 議会運営委員会、全員協議会、1月臨時会本会議、 予算委員会、総合計画特別委員会	12日(金) 予算委員会
2月16日(火) 福井県自治会館組合議会定例会、市町総合事務組合 議会、勝山市防災会議	15日(月) 予算委員会
17日(水) 全員協議会、総合計画特別委員会	16日(火) 予算委員会
18日(木) 土地開発公社理事会	17日(水) 総合計画特別委員会、議会広報特別委員会
24日(水) 本会議、全員協議会	18日(木) 議会改革特別委員会、議会運営委員会
3月 3日(水) 本会議（代表・一般質問）、議会運営委員会	19日(金) 議会広報特別委員会
4日(木) 本会議（一般質問）、議会広報特別委員会	21日(日) 成人式
5日(金) 予算委員会、総務文教厚生委員会、建設産業委員会、 全員協議会、本会議	22日(月) 全員協議会、本会議
8日(月) 総務文教厚生委員会	26日(金) 大野・勝山広域事務組合議会
9日(火) 建設産業委員会	29日(月) 勝山・永平寺衛生管理組合議会、土地開発公社理事会
11日(木) 予算委員会	30日(火) 福井県後期高齢者医療広域連合議会
	5日(月) 議会広報特別委員会
	12日(月) 議会広報特別委員会
	13日(火) 春季消防訓練

## 編集後記

世間ではコロナワクチンの話題でもちきりの中、令和3年度予算をはじめ、重要な議案に対し集中慎重に審議を行った3月定例議会となりました。本定例会からタブレット端末の導入により、時代に沿った議会体制が整い始め、より市民に安心安全な生活を提供できるよう努めようと改めて気が引き締まる思いです。全員笑顔の勝山目指してこれからも頑張ります！  
(松本 聖司郎 記)

議会広報特別委員会：委員長 下道恵子 副委員長 松本聖司郎 中山光平 富士根信子 久保幸治